

本年度の学校評価

令和7年度重点目標		<ul style="list-style-type: none"> 1 自らの生き方を考え続ける キャリア教育の充実 2 主体的に学ぶ姿勢をもつ 自己調整学習の推奨 3 自己指導力を育む 考える力(メタ認知)を育成する生徒指導 4 多様性への理解を高める 社会性を高める教育活動の設定 5 危機管理予測 防災安全教育の充実 6 モチベーション向上による教職員のメンタルヘルス保持 多忙感解消 	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
総務	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や式典運営の効率化 ・効果的な情報発信の研究 ・同窓会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備及び運営の効率的な役割分担をする。 ・学校通信やSNS、きずなネットなどによる情報発信を充実させる。 ・同窓会総会を活性化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な準備を時系列で整理し、効率よく進める。 ・創立40周年記念講演会の企画及び当時の運営を、生徒を含め学校全体で組織的に実施できるよう調整を図る。 ・PTA だより「ゆたかの」の紙面を充実させる。 ・同窓会と密に連絡を取る。
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の充実 ・通信制、中間定時制課程の授業計画 ・新学習指導要領への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位制の3課程の教務関係運用規定の整備 ・転籍に向けたルール作り ・観点別学習評価の一層の充実 ・新学習指導要領への対応した成績処理の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位制3課程の制度を全教員で共有する。 ・成績処理・履修登録・転籍ルールを明文化し共有する。 ・転籍時は単位や成績の扱いを必ず確認する。 ・観点別評価の基準や記述を教科内で見直す。 ・新学習指導要領の変更点を把握・共有する。 ・教務部会で運用の見直しを定期的に行う。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・交通安全意識の高揚 ・基本的生活習慣の確立 ・いじめ防止対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を励行させる。 ・身だしなみ意識を向上させる。 ・交通事故防止に努める。 ・登校指導を通して不注意遅刻を減らす。(遅刻防止週間の設定) ・いじめの未然防止と早期対応に努め相手の気持ちを慮ることができる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に行われる挨拶を大切にす。 ・場に応じた身だしなみを整えることの大切さを理解させる。 ・登校時や下校時の声掛けや安全マップの作成をする。 ・日常的な指導を通じて時間を守らせ、基本的生活習慣を確立させる。遅刻多数者には面談するなど段階的指導をする。 ・全職員が規律・学力・自己有用感を大切にし、生徒指導にあたる。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応の周知徹底をする。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路意識の醸成 ・進路実現に必要な学力の育成 ・時機を得た進路情報の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育と関連付けた進路計画の立案 ・補習、土曜学習会の効果的な実施 ・進路委員と連携した進路だよりの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の在り方生き方を主体的に考える態度を育成する取組を実現する。 ・フレキシブルハイスクールに対応した土曜学習会、補習を実施する。 ・最新データを基に的確な進路指導ができる体制づくりを実現する。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会および委員会活動の充実 ・飛翔祭(文化祭・体育祭)の充実 ・諸行事や部活動などの見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員が主体的な活動および議会や委員会の効率的な運用。 ・飛翔祭企画の工夫および活動を通じた主体性・社会性の涵養。 ・フレキシブルハイスクールの理念を具現化した特別活動の実現。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛翔祭などの行事において生徒会役員が主体的に企画・運営する場を確保する。また伝達や意見集約では議会や委員会を積極的に活用する。 ・飛翔祭では団やクラス、部活動などの企画を促し、準備や当日の運営の過程で自分たちの工夫による活動をさせ、学びの機会とする。 ・飛翔祭に対する昼定や通信の生徒の関わり方を研究する。また、学校行事や部活動等について3課程に対応した体制づくりを進める。
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の充実 ・防災教育の充実 ・学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察や保健室利用状況の確認。 ・災害時の状況を具体的に想定した防災教育を充実する。 ・各課程に合わせて環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の健康観察簿の記録の記入の徹底、保健室利用状況の整理・確認 ・大規模災害を想定し、避難経路を見直し、避難訓練のブラッシュアップを行う。 ・清掃活動や安全点検を活用して、環境を整える。
図書情報	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用者数の増加 ・授業改善への意識の醸成のための研究授業 ・開かれた図書館へ向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規納入図書の情報発信、図書委員会の充実 ・授業研究週間の充実 ・全体研修会の充実 ・フレキシブルハイスクールに向けた図書館運営システムの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入希望に沿って図書選定委員会を実施し、書籍の目新しさ、研究に資する図書を拡充し、来館者の増加を図る。 ・図書委員を中心に広報活動を行い、図書館の積極的な利用を促す。 ・共通テーマを設定した授業公開週間を設置し、授業研究を行い全教員が指導技術の改善意識を持てるように啓発する。 ・フレキシブルハイスクール開設に向けて、職員室や保健室と連携した図書館の運営システムを構築する。
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談体制の構築 ・教育相談チャンネルの増設及び周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の学校教育における教育相談の位置付けを明確にし、教育相談を生徒指導の一つの方法として確立する。 ・教育相談部員も相談業務を担当し、生徒の相談チャンネルの選択肢を増やし、それを生徒、教員に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の意義や目的について校内の周知を図る。 ・教育相談を生徒指導の一環として位置付け、生徒指導と教育相談を一体化させ、全教員で一致して取組を進めることができるようにする。 ・指導や援助の在り方をアセスメントに基づいて考え、常に時間的視野をもって柔軟に相談にあたる。 ・次年度開設予定の通級指導について、研修会の開催など準備を進める。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に必要な学力の養成 ・自主学習の充実や良質な生活習慣の確立 ・社会人としての基礎的素養の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現のための計画を立てさせる。教員による適切な情報提供や指導を行う。 ・良質な生活習慣が学習習慣につながることを理解させる。 ・安易な遅刻、欠席をさせない。報・連・相等コミュニケーションを図ることの重要性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談を行い、進路実現に向けて生徒の意識を高める。 ・総合的な探究の時間を活用し、全体に向けての指導を定期的実施する。 ・担任会や進路検討会を通して、学年の教員間で情報を共有し、個別の進路指導を検討することで、生徒によりよい支援ができるよう努める。 ・早朝、業後補習(進学・就職)で進路実現に向けての学力・意識の向上を図る。また、夏期補習、土曜学習会、業後学習会を通して自主学習の充実を図る。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣と生活習慣の定着 ・進路実現に必要な視野を広げる ・豊野高生としての自信と誇りを育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻、早退を減らすことを推奨し、基本的生活習慣を確立させる。 ・進路について多様な選択肢を知ること、望ましい進路実現を考える基礎作りをする。 ・学校生活を通して自信を深め、愛校心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席や遅刻の多い生徒にはこまめに家庭連絡を行い、家庭での様子と学校での状況の情報交換をする。 ・総合的な探究の時間を中心に、進路検討をするために必要な情報を集める。 ・HR活動や授業での学びのなかで成功体験を積む機会を設け、自己肯定感の向上を目指す。豊野高校での一員である自覚を促し、自校への誇りと愛校心を育てる。
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・誰からも愛され、応援される生徒の育成 ・自律できる生徒の育成 ・学習習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・やるべきことを確実に実行させ、時間やルールを守らせる。また、感謝の心を育てる。 ・身だしなみ指導や遅刻指導等を通して、規範意識を醸成する。 ・英数国の学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間やルールを守ることは信頼関係を築くことにもつながることを意識させる。 ・何事もあたりまえではないということを伝えていく。 ・なぜそのようなルールがあるのかを考えさせる機会を意識的に設ける。 ・前向きに参加できるように授業を工夫するとともに、英数国を中心に家庭学習を充実させる。
学校関係者評価を実施する主な評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 1 進路目標達成に向けた進路意識の向上について 2 主体的な学習への取り組み、確かな学力の習得について 3 基本的生活習慣の確立、社会人としての規律やモラル・マナーの修得について 4 健康な心身や自他の命を大切にする心の育成について 5 学校行事や部活動の充実など活力ある教育活動の推進について 6 フレキシブルハイスクールとしての体制、3課程の連携について 		